

H O K K A I D O I H O

北海道医報

10

月号

2022.10.1
第1249号



北海道 美の遺産 泉 秀雄 『農家の秋』 北海道立旭川美術館 所蔵

CONTENTS

北海道医報
令和4年10月1日 第1249号

指標／新型コロナウイルス感染症と感染症法	高橋 聡	3			
医の倫理綱領		6			
新郡市医師会長の紹介		8			
郡市医師会長からの抱負		10			
報告／令和4年度北海道医師会賞・北海道知事賞受賞者業績紹介		16			
報告／医師の働き方改革への対応セミナー	水谷 匡宏	22			
税務相談室／青色申告	中村 孝一	25			
医師のための法律相談コーナー／近時の医療判例 (30)	矢吹 徹雄、二本柳宏美	26			
若手医師コーナー／Spirits 若手医師リレーエッセイ	楠原 匡	29			
会員のひろば	牧野 雄一、黒滝 武洋、水関 清、小笹 明、佐藤 浩樹、 末武 敬司、中村 一博、高村 圭、小谷 晃司、華岡 慶一、 浦澤 正三	30			
ポラリスを仰ぐ北の大地から	渡部 公祥、小山内裕昭	40			
大通公園を望む窓辺から	目黒 順一、滝山 義之	41			
日本医師会生涯教育講座等開催情報		42			
中央 ⁴² 道南 ⁴³ 後志 ⁴³ 空知 ⁴³ 道北 ⁴⁴ 北見 ⁴⁴ 道東 ⁴⁵					
その他 (学会・医会・研究会等) ⁴⁵					
日医認定産業医制度研修会開催一覧		46			
日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧		48			
計報		49			
道医の動き		49			
新規指定医療機関		50			
会議室／第11・12回常任理事会、第3回理事会		51			
売貸医院・医師招聘情報		56			
道医師国保の頁		60			
季節風／VUCA時代に求められる医療	寺本 瑞絵	70			
お知らせ					
2023年版医師日記 (手帳) の申込み ⁷ ／第49回(令和4年度)全道医家囲碁大会中止のお知らせ ¹⁵ ／みんなであらば、未来が変わる。考えよう。行動しよう。公共交通の未来。 ²⁰ ／第6回生命を見つめるフォト&エッセイ作品募集 ²¹ ／新型コロナウイルス感染症関連情報 ²¹ ／日本臨床内科医会かかりつけ医のためのWEB講座 ²⁸ ／電子メールによる会員への情報提供についてーメールアドレスの登録ー ²⁸ ／北海道内科医会ならびに日本臨床内科医会入会のご案内 ⁴⁷ ／アクションズ若手医師活動報告投稿大募集!! ⁵⁰ ／「医師資格証」を持ちましょう ⁵⁴ ／研修会等への託児サービス併設費用の助成 ⁵⁵ ／北海道医師会育児サポート事業のご案内 病児・病後児の預り時に、ぜひご利用ください! ⁵⁵ ／医師招聘に掲載をご検討中の医療機関の皆様へ ⁵⁹ ／北海道医報「会員のひろば」投稿募集 ⁵⁹ ／日本医師会作成『心肺蘇生法C A B + Dカード』 ⁶⁵ ／北海道医師会医師キャリアサポート相談窓口 ⁶⁸ ／グループ保険のご案内 ⁶⁹					
北海道医師会会員数	8,149名 (-7)	うち日本医師会会員数	5,714名 (-3)		
A	2,361名 (-1)	B2	4,619名 (-2)	C2	128名 (±0)
B1	616名 (-2)	C1	85名 (+2)	C3	340名 (-4)
令和4年8月31日現在 () 内前月比					

作品紹介

泉 秀雄 農家の秋

1911 (明治44) 年～1998 (平成10) 年
夕張市生まれ。
1936 (昭和11) 年の作品。水彩、紙 (55.0×75.0cm)。

1930年第6回北海道美術協会 (道展) に初入選。1932年苦学して札幌師範学校 (現北海道教育大学札幌校) を卒業。旭川市立日新小学校に着任。在職25年を記念して個展を開く。1936年北陽画会結成。1937年白日に初入選。1938年旭川美術協会結成ー第1回展旭都画壇の団結のために活躍する。1946年新口マン派美術協会結成。旭川児童美術研究所開設。

北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立旭川美術館
(旭川市常磐公園内 0166-25-2577)

1949年旭川市工工研究部長。1951年北海道工工連盟副委員長。1954年旭川市社会教育講師。1959年北海道美術協会 (道展) 会員。1964年旭川市文化奨励賞を受賞。本道の美術教育にも大きく貢献した。

◇ ◇ ◇
自然の風景の緑色が画面を占めているので、親和性の高い青色や青緑色などの色でまとめ、暖色系の花を点在させて空間に奥行きを与えている。光の当たった眩しい部分を白っぽく見えるようにメリハリ感を出し、明度を効果的に調整しながら光の印象を少し和らげた表現と、伸びた木々の影がアクセントとなり、秋の気配を引き立てている。また、小屋や道具などから、五穀豊穡の収穫の季節を迎え、日本の原風景の風情を感じる。